

避難所での注意点

避難所の開設・運営

大規模な災害等が発生した場合、町では状況に応じて町内の指定避難所を開設します。開設後は、施設管理者や避難した方も含め、協力して避難所運営を行います。

■防犯対策

避難所には、多くの人が集まります。自分の身は自分で守ることを心がけ、怪しい人を見かけたら、警察や施設の担当者に連絡しましょう。

■プライバシーを守る

居住スペースは個々の「家」と同じです。特に女性、乳幼児や子どもがいる家庭、要配慮者などにも気を配り、プライバシーの確保を徹底しましょう。

■清潔に保つ

室内は土足厳禁として、布団を敷くところと通路を分けるようにしましょう。室内の清掃や整理整頓に努めましょう。ゴミ捨て場所を決め、ゴミには封をし、トイレは清潔に使用しましょう。

■エコノミークラス症候群対策

避難所内でずっと同じ姿勢でいるとエコノミークラス症候群になってしまいます。適度な運動を行い、健康状態を保ちましょう。

避難所3つのマナー

ゆずりあい

避難所はみんなで使うところです。限られたスペースしかありません。トイレの順番などできるだけゆずり合いましょう。



おもいやり

避難所では大きな声を出したり、走り回ったりすると、まわりの人たちの迷惑になります。お互いにおもいやりの気持ちで、過ごしましょう。



たすけあい

ケガをしている人や体の不自由な人、また、病気の人なども避難所には集まります。みんなが少しでも快適に過ごせるように助け合いましょう。



ペットの避難～飼い主が備えておくべきこと～

避難所はペットの同行避難が可能です。原則、避難者がいるスペースから離れた決められた場所(屋外など)につないだり、持参したケージ(おり)等に入れたりすることになります。避難所のルールに従って、飼い主が責任を持って世話をしましょう。

■災害時の心構え

避難所には、動物が苦手な人やアレルギーを持っている人など様々な人がいるので、周りの人に配慮しましょう。

■ペットのしつけと健康管理

ケージやキャリーバッグ等に慣れさせておき、決められた場所で排泄ができるようにしておきましょう。予防接種や寄生虫の駆除をしておきましょう。

■ペット避難用具・備蓄品の用意

食料、リードやキャリーバッグ等、避難先での飼育に必要なものを予め用意しておき、持参しましょう。ペット用の避難物資が届くまでには時間がかかる場合があるので、5日分(できれば7日以上)は用意しておきましょう。

詳しくは、環境省ホームページを確認



非常持ち出し品

災害が発生したときは、すぐに避難しなければいけません。避難する場合に備えて、平時からリュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

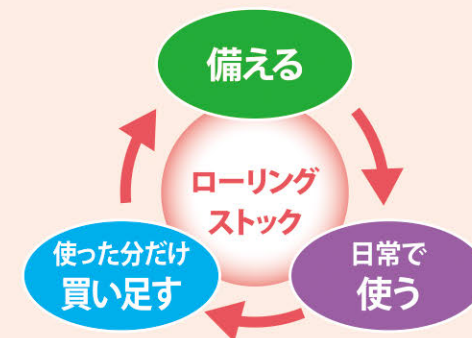


食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットルを目安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> 粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合) 日頃から、7日分の食料と飲料水を、備蓄品として常備しておきましょう。	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、ばんそうこう <input type="checkbox"/> 傷薬、消毒薬 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> ホイッスル	<input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード、免許証など(本人確認できるもの)
衣類など	日用品など	
<input type="checkbox"/> 衣類(厚手の物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池)	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー) <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ
	<input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 手指消毒液 <input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 地図(ハザードマップ)	

備蓄▶消費▶補充を繰り返す

ローリングストック(循環備蓄)を心がけましょう

ローリングストック(循環備蓄)とは、普段から使用する食材、加工品を多めに買って置き、消費期限が近いものから使用し、使ったら使った分だけ買い足していくことで、常に一定量の食料を家庭に備蓄しておく方法のことを言います。この備蓄方法を行うことで、平時の負担が少なく、いざというときにも日常生活に近い食生活を送ることができます。



避難行動要支援者への協力

高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、日本語が不自由な外国人の方等の特に配慮を要する方(要配慮者)のうち、災害発生時に自ら避難することが困難で支援が必要な方を、避難行動要支援者といいます。避難が必要となった場合は、地域で協力しあいながら、近所の高齢者、障がいのある方などの安否確認、避難場所への移動を支援しましょう。

高齢者・妊産婦・乳幼児・病人

- 手をつなぐ、またはおぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



目の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩手前をゆっくり歩く。



車椅子を利用する方

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。



耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

